

■ 岩手経済戦略会議2018開催〈速報〉



■ 東北・北海道ブロック各地経済同友会代表幹事意見交換会



■ 企業経営委員会開催



グローバル人材を今年も海外派遣

「トビタテ！留学JAPAN地域人材コース」壮行会

（一社）岩手経済同友会が参加するいわてグローバル人材育成推進協議会（会長・達増拓也岩手県知事）は昨年引き続き、県内の学生を海外研修に派遣する。その壮行会が8月6日、盛岡市盛岡駅西通のアイーナで開かれ、選出された5人が留学の目的や展望を発表した。

壮行会で副会長の岩淵明岩手大学学長は、「地元の地域創生を担う人材をどう育成するかが大きな課題だ。グローバルとローカルの架け橋となるような人材育成が重要だ」とあいさつした。

派遣学生は岩手大、岩手医大、一関高専の5人で年度内に台湾やハンガリー、英国などに1か月から最長5か月間留学し、農業や医学などそれぞれのテーマで研修する。



留学する学生



ポスターセッションで説明する留学生

いわての木製雑貨で起業を目指す高橋佳苗さん（岩手大人文社会科学部4年）は、岩泉純木家具で事前事後のインターシップを行い、英国とフィンランドで3か月研修する。高橋さんは「岩手の木製雑貨を広め、岩手県産材の需要を高めたい」と抱負を語った。

同協議会はグローバルな視点を持つて地域で活躍する人材育成が目的。産学官が連携して昨年2月に発足。日本学生支援機構の留学支援事業「トビタテ！留学JAPAN地域人材コース」に採択され、今回が2度目の派遣となる。

岩手経済同友会など80の企業や団体が参加し、留学費用は会員企業からの寄付金約400万円と同額の国交付金でまかなう。

【留学生一覧】

- ◇作田雅之（岩手大農学部3年）ベトナムへ
- ◇口田脩太（岩手医大医学部5年）ハンガリーへ
- ◇高橋佳苗（岩手大人文社会科学部4年）英国・フィンランドへ
- ◇高橋美咲（一関高専物質化学工学科4年）タイへ
- ◇吉永圭吾（岩手大農学部2年）台湾へ

いわてとワタシゴト展

高校生が10年後のビジネスアイデアを発表

いわての「はたらく」が見える！集まる！をキャッチフレーズに「いわてとワタシゴト展」が8月10、11の2日間、盛岡市盛岡駅西通のアイーナで開催された（いわてで働こう推進協議会主催）。

2日間を通して県内企業の職場を紹介する「シゴトビトの職場」が24社参加で開かれたのははじめ、ステージイベントとして1日目は「企業のためのこれからの採用戦略大勉強会」と企業のPR力を競うプレゼングランプリが行われた（エントリー11社）。

2日目は「働く若手世代の本音ミートイング」「未来のワタシゴト創造プロジェクト発表会」が行われ、このうち「未来の…」では高校生が大学生、企業人と一緒になって未来



24社が出展した「シゴトビトの職場」



「未来のワタシゴト創造プロジェクト」発表会

の仕事を考え出し、発表した。県内各校混成の5人の高校生グループに大学生1名、企業人2名が加わり8人1チームで、8チームが発表。一般入場者の投票によってグランプリを選んだ。

発表されたプロジェクトは次のようなもの。

A・10年後空飛ぶ銀河鉄道で国内外の人をもてなし、おもしろくする／B・伝統工芸品に変化をとり入れ、未来に繋げるためのプロモーション活動をする／C・岩手の入り口をつくることをテーマに、岩手の魅力が伝わるもの、岩手に来てもらおうきっかけづくり、岩手のお土産をおもしろくするためのアプリをつくる／D・岩手の日常を彩る。仕事内容は移動式夜市（園芸ハウス様の構造）の運営代行／E・NPO法人農業支援。岩手の農業を通して人を育てる、をテーマに／

F・イラストで岩手の魅力を伝える。岩手の魅力を詰め込んだ岩手最大の物産イベントを開催し人を呼び込む／G・南部鉄器など伝統工芸品の手づくりキットをつくる／H・岩手のイベントをAI、VRで売る。コンセプトは、感光VR。隠れた岩手の宝を限りなくリアルに近い映像体験によって世界中に届け魅力を感じてもらおう。